

土木工学科の高校生が「鷹ノ巣道路」で現場体験！

～ 新発田南高校3年生 将来の技術者たち ～

◆羽越河川国道事務所では、地域高規格道路「鷹ノ巣道路」の早期完成を目指し鋭意事業を進めています。

◆この現場見学会は、現場を見るだけでなく、普段の授業では経験できない実際の工事現場体験を通じ、土木工事への理解や知識を高めて貰うことを目的に行います。

【現場見学会の概要】

実施日 : 平成26年10月10日（金）、13時30分～14時30分 （小雨決行）
場 所 : 新潟県関川村片貝（鷹ノ巣道路沿地区改良その2工事の現場）
参加者 : 新潟県立新発田南高等学校 土木工学科 3年生36名（他教諭3名）

【現場体験等メニュー】

- ①バックホウ試乗
- ②鉄筋の結束（組み立て）作業
- ③ボックスカルバートの配筋状況見学
- ④薬液注入材（水ガラス）のゲルタイム測定
- ⑤ポータブルコーンによる地盤支持力測定



【鷹ノ巣道路沿地区改良その2工事の状況】



【バックホウ試乗体験】



【鉄筋結束作業体験】

※当日取材をされる方は、直接現地までお越し下さい（裏面の地図参照）

投げ込み先

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟日報社（村上支局）
村上新聞社
いわふね新聞社

問い合わせ先

北陸地方整備局 羽越河川国道事務所 建設専門官 伊藤勝美
TEL : 0254-62-3211（代）



■平成26年10月10日 現場見学会位置



※見学会会場は、国道113号からわかぶな高原スキー場の方に向かう村道を約400m行った場所にあります。

※当日取材をされる方は、現場事務所のある左記の駐車場をご利用下さい。

現場見学会会場

鷹ノ巣道路について



「新潟山形南部連絡道路」は村上市～山形県高畠町を結ぶ延長約80kmの地域高規格道路です。

このうち関川村下川口～片貝間の延長約5kmを「鷹ノ巣道路」として事業中です。

この区間の国道113号は急カーブや急勾配が多く、災害や事故で通行止めになった時には迂回路がないため、救急患者の搬送や通勤通学、地域の生活、経済活動等に大きな影響があります。

これらの課題を解消し、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域間の交流促進や地域振興、活性化を図ることを目的に計画された道路です。

